

呉で輝く 若者たち

vol.113

まつばら まりあ
松原 満里愛 さん

プロフィール

19歳。広島県在住。三次高校を卒業後、祖父のカレー店『ホワイトハウス』を継ぐため呉市へ。昨年9月にカレー店を再開。



インタビューの
様子はこちら▶



「お待たせしました♪」
あたたかい笑顔で料理を提供するのは、広でカレー店を営む松原満里愛さん。仕入れから調理、接客、従業員の管理などを行っています。

この店は松原さんの亡き祖父が44年間経営していたカレー店。3年前、松原さんの祖父が亡くなった際に店を残すかどうか両親と話し合ったそう。「小さいころから通っていた思い出いっぱいのお店。お客さんから愛されていた店を無くしてしまうのはもったいないと思い、予定していた留学をやめて、私が継ぐことを決めました」と話します。

祖父の味を再現するため毎日が試作の連続。当時のレシピは残っていたものの、野菜を入れる順番や煮込み時間が書かれておらず、思うように再現できなかったと言います。そんな時、店のタブレットから動画を発見。そこには亡くなる1週間前の祖父がカレーを調理している様子が映っていました。その動画をヒントに、煮込み時間を変えながら、画面に映るカレーの色に近づけたそう。「当時の味を知っているお客さんや家族に食べてもらい、何十回も改良を

重ねました。大変でしたが、当時の味が再現できてよかった」とこころい。

店を再開できたのは、それから半年後。「ここに来てカレーを食べて1週間を頑張れたんだよ」「結婚する前に今の夫とデートで通ったんだよ」。お客さんからそんな思い出話を聞くたび、祖父がたぐさんの人の人生に寄り添っていたと感じ、胸が熱くなったと言います。「私も、ここに来てくれる人たちによい思い出が提供できるように、おいしいカレーを作り続けたいです」と松原さん。

松原さんの代で、カレーパンやクリームソーダの提供も始めたそう。「これまで愛されてきたカレーの味は守りながら、私らしさも出していきたい。これからも試行錯誤しながら、食べに来てくれる人を幸せにできる味を追及していきます」と松原さんは目を輝かせています。



▲カレーパンの餡を仕込む松原さん

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用しています

■再生紙を使用しています
■QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

10言語対応「市政だより くれ」デジタルブックで配信中！



- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読める
- 文字サイズを調整できる
- 動画や写真も楽しめる
- 10言語で読める・聞ける（音声読み上げ対応※）



【対応言語】

日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）
韓国語、タイ語、ポルトガル語（ブラジル）
スペイン語、インドネシア語、ベトナム語
※ベトナム語は音声読み上げに対応していません。

無料 FREE APP



・ブラウザ版は音声読み上げには対応しておりません。音声読み上げには、無料アプリ（カタボケ）のインストールが必要です。

編集・発行
呉市役所 秘書広報課

〒737-8501 広島県呉市中央4丁目1番6号 代表 ☎ 25-3100 秘書広報課 ☎ 25-3236

市政だより 令和7年7月号

32